



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

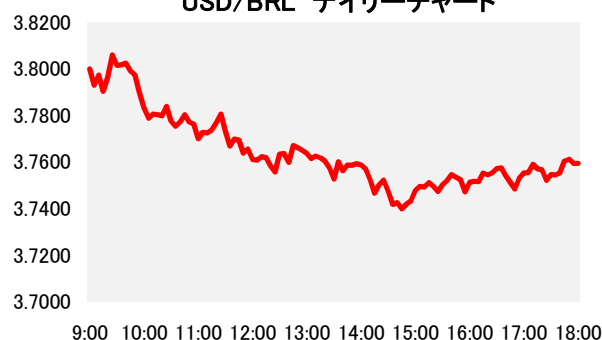
			12月26日	12月27日	12月28日	1月2日	1月3日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9270	3.8750	3.8760	3.7870	3.7590	-0.0280
	BRL/JPY	Spot	28.370	28.580	28.48	28.82	28.66	-0.16
	EUR/USD	Spot	1.1350	1.1448	1.1446	1.1344	1.1394	+0.0050
	USD/JPY	Spot	111.37	110.75	110.36	109.11	107.74	-1.37
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.465	6.463	6.456	6.429	6.435	+0.006
	Future	1Year(p.a.)	6.594	6.566	6.553	6.457	6.495	+0.038
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.858	3.517	3.284	3.235	3.256	+0.021
	USD	1Year(p.a.)	3.894	3.678	3.520	3.450	3.460	+0.010
株式	Bovespa指数		85,136.13	85,460.19	87,887.25	91,012.31	91,564.25	551.94
CDS	CDS Brazil 5y		213.73	212.96	210.48	205.58	202.68	-2.90
商品	CRB指数		172.940	170.486	170.966	170.390	171.552	+1.16

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

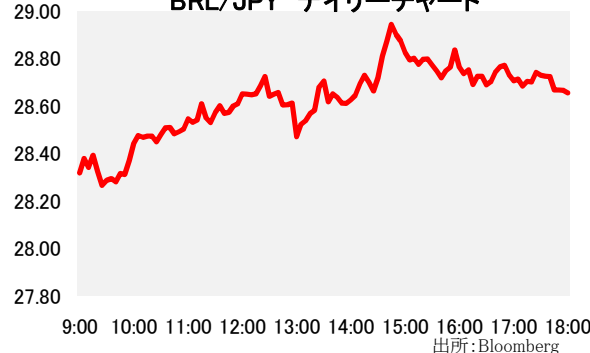
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
自動車販売台数	--	234557	230938
(米)ADP雇用統計	180k	271k	179k
(米)新規失業保険申請件数	220k	231k	216k
(米)失業保険継続受給者数	1690k	1740k	1701k
(米)ISM製造業景況指数	57.5	54.1	59.3

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

ロレンゾーニ伯官房長官	ボルソナロ大統領は各閣僚に対し、8日（火）までに各自の施策内容を発表するように求めている。
-------------	---

4. トピックス

- 本日のレアルは3.7970で寄り付き、直後に日中安値3.8060を付けた。PTAX決定に向けてのドル売り需要が強まった他、ボベスパ指数が過去最高値近辺の水準を維持する中、国内のリスクオン姿勢を背景にレアルはじりじりと上昇した。また、軟調な米経済指標を受けた米金利低下による米ドル売りもレアルをサポート。午後に入ると日中高値3.7390まで上昇し、結局3.7590でクローズした。
- 本日発表された12月の米ISM製造業景況指数は市場予想(57.5)を下回る54.1となった。同指数は50を超えれば景気拡大を示すものの、今回の結果は2016年11月以来の低水準となり、前月比では2008年10月以来の下落幅となった。同国の経済成長に対する懸念を示す結果を受けて米金利は低下した。
- 昨日の米国時間終了後、米アップルが売上高予想を引き下げたことによる影響からリスクオフムードが拡大。日本市場が休場で薄商いの中、円が対米ドルで一時104円台まで急伸する場面があった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。